

農林水産大臣賞

上勝町の木材産業起こしを目指して
－素材に対し付加価値・雇用確保でも活性化－

株式会社 もくさん (代表取締役社長 山田良男)

□事業体の構成

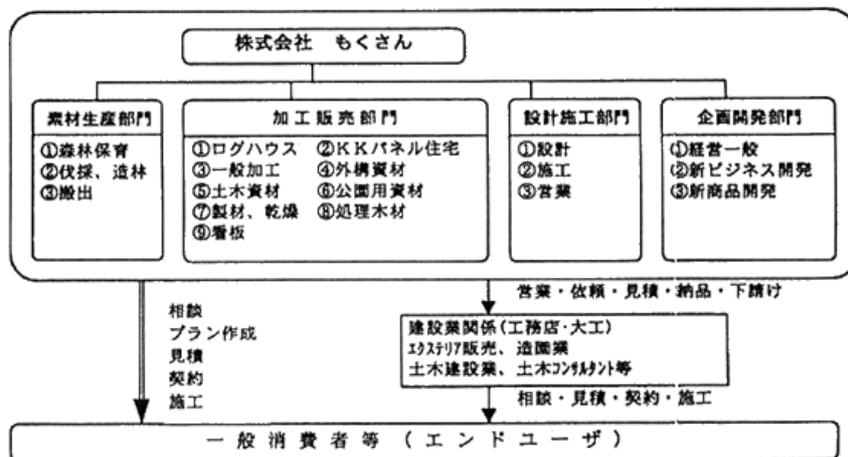
9 団体・企業等異業種の出資により設立

〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町大字福原字下日浦7-1

TEL 08854-6-0693 FAX 08854-6-0694



□事業の仕組み



1. 地域の概要

本地域は徳島市の南を流れる勝浦川の上流に位置し、徳島県中央やや南東寄り
で、徳島県庁を南西に約40kmの距離に位置する地域である。本地域の人口は
2,334人 (H11年度時点) で、土地総面積が10,968haうち森林面積が
9,375ha (森林比率が85%) の山村地域であり、過疎地域である。

森林資源状況については、民有林総数9,370haに対して人工林が7,737ha (人
工林率83%) を占め、人工林蓄積量は2,095千m³ (270m³/ha) と充実してい
る。中でも9齢級以上が3,490ha (比率約45%)、1,271.6千m³ (比率約61%)
を占めている。

素材及び製材品生産量については平成11年度の素材が8,951m³、製材品が2,370m³となっている。現在、この充実した森林資源を利用するための仕組み作りと生産体制の確立が急務となっている。そこで上勝町では、町振興を図る第3セクター方式による4つの会社を設立した。これらの会社の特徴としては、町の地域資源を生かした産業起こし、都市との交流による産業起こし、併せて若者の定住・高齢者の生きがいをつくる産業起こしを主眼に、農業・木材産業・観光業等に取り組んだ地域の活性化と、Uターン・Iターンによる雇用の確保に大きな成果を発揮している。

2. 事業内容

(1) 事業の目的

林業従事者の高齢化、新規参入者がいないことにより、放置される森林が増えており、このままにしておくと荒廃（山地災害、山火事）する恐れがある。そこで健全で安全な森林の整備を推進する一助として、町で生産された素材に付加価値を付ける商品の開発、製造、販売することにより林業の活性化を図る。また併せて、若者の定住できる就労の場作りも図る。特に地域で生産される素材の殆どであるスギ材の中でも①利用の低位な主伐中目材については住宅部材用の加工・販売を行い、②強度等の面で劣る間伐材等の若齢・小径木については、公共土木事業を中心とする外構資材向けの加工・販売を行うことにより、木材産業起こしを目指すものとする。

(2) 事業の内容

●主な事業内容

- ①木造建築工事の請負並びに企画・設計・管理及びコンサルティング業務
- ②建築工事のうちkkパネル住宅・ログハウス・木棚等、外構部材の加工・販売及び請負
- ③森林施業の請負
- ④一般廃棄物及び産業廃棄物の収集及び処理業
- ⑤木材の需要開発

(3) 施設の整備状況

1. 平成8年度から平成10年度において林業構造改善事業により施設整備
2. 事業費425,140千円（国補1/2以内）
3. 保有施設の内容

乾燥機2台、防虫・防腐施設（含浸）1基、インサイジングマシン1台、かんな盤（モルダー、自動二面かんな盤等）4台、ほぞ取り機2台、クロスカットソー1台、ランニングソー1台、リップソー1台、プレス機1台、集塵装置1基、作業用建物2棟、製品保管庫1棟、管理棟1棟、貯木場1箇所3,800m²等

(4) 事業の実績

別表のとおり。

(5) 事業の成果（事業体の評価）

1. 当初計画で、雇用確保の目標を12名と計画していたが、その計画を超える15名の雇用を確保することが出来た。併せて、臨時的に大工2名も年間雇用することにより、現在17名の雇用の場の確保が出来、山村の振興に寄与することが出来た。
2. 地域材の需要拡大を図るため、上勝町森林組合共販所の木材を調達するようになって、共販所に売れ残りが出なくなった。現在では最大の本木買方である。
3. (株)もくさんの稼働により、町で整備する施設については木造化を推進しようという運動が高まり、先導的に上勝町の公共施設の木造化（木造学校施設等）が推進された。
4. (株)もくさんへの出資企業等との異業種連携により、公園・土木事業から、住宅資材・建築にいたる企画、商品開発、設計施工等多様な事業展開が出来た。
5. 住宅の構造は基本として在来軸組みとしているが、構成を壁（筋交い付）、屋根については工場生産によるパネル化を進め、柱等の軸に落とし込む工法により建築工期の短縮、現場施工でゴミを極力出さないなど、低コスト化と木材製品を多く使う工夫がなされた。
6. 公共土木施設の工法のひとつとして、法面保護工にKMブロックを開発し、現在県内の公共事業に採用されている。

(6) 今後の取組み

継続して事業展開、受注の確保を図れるように、商品開発を進めるとともに公共事業分野への利用提案を働きかける。

また、県産材を活用する大型工事に対応した資材供給が出来るよう、県下の他の供給者との安定供給の共同体等の組織化を進める。一方供給する製品等の品質確保を図る上で、AQ認証の取得を目指す。含浸保存処理材と屋外製品部材の認証取得を平成13年度目標としている。

(別表)

種 別	平成9年度		平成10年度		平成11年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
加工木材販売量	800m ³	500m ³	1,500m ³	1,100m ³	2,100m ³	2,100m ³